

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講 師 新潟大学大学院 医歯学総合研究科
包括歯科補綴学分野 堀 一浩 先生

2. 演 題 咀嚼の質と量

3. 日 時 2019年11月29日(金)17:00～19:00

4. 場 所 7号館(歯学部校舎棟)2階 第2講義室

5. 要 旨

咀嚼運動は、口腔内に取り込んだ食物を粉碎し、唾液と混ぜ合わせて嚥下できる食塊とする一連の動きである。言うまでもなく補綴治療の目標は、形態学的回復だけではなく機能回復その中でも特に咀嚼機能の回復には主眼が置かれるべきである。これまで、多数の咀嚼機能評価が開発・報告されてきたが、多くはある食品を粉碎・咬断・混和した際の咀嚼能率といった点から評価される。一方で、「よく噛めないから丸のみしている」「よく噛めないから食事に時間がかかる」といった訴えは、補綴診療時においてよく聞かれるにもかかわらず、咀嚼回数などの観点からの評価法は非常に少ない。本講義では、咀嚼の「質」としての咀嚼能率評価と、「量」としての咀嚼行動に関する研究について紹介したい。

連絡先： 和田 淳一郎（部分床義歯補綴分野 内線 5515）